

放送日 令和元年12月2日(月)

担当者 福祉課 佐藤 将隆

おはようございます。福祉課の佐藤です。皆さん、先日、全庁的に行われた健康診断、ストレスチェックの結果はいかがでしたでしょうか。

例年通り良好である方、例年通り悪い結果が出てしまった方、中には今回から思いもよらない項目に悪い結果が出てしまった方もいるかと思えます。

結果だけ確認して、終わってはいないでしょうか。今回から悪い結果が出てしまった人はもちろんですが、私の経験からすると、例年通り悪い結果が出てしまっている方で何も対策をとっていない方がいるとすると、それは大きな悲しみにつながってしまう場合があると考えます。

先日のいい夫婦の日には、テレビや友人からおめでたい報告が相次ぎました。

結婚式でよく耳にする言葉として、「もう自分だけの身体ではないので、大好きなお酒は程々に。」というフレーズがあります。

確かに、これから家族を持つという人にとって身体は資本であり、家計を支える大切な要素です。

しかし、私は思うのです。「人の身体は生まれた時から、自分だけの身体ではない。」と。

私はまだ独身ですが、身体を壊せば、親、兄弟、友人を悲しませてしまったり、職場の方々へ負担をかけ、市民サービスの観点からするとお客様の満足度も下げてしまいかねないと考えます。

そうなる前に、今回の診断結果を見つめなおし、是非ともとるべき対応を今一度ご検討いただきたいと思います。

また、お仕事をする私達にとって、一日の内に職場の仲間と共に過ごす時間は非常に大きな割合を占めています。年末に差し掛かるこのタイミングで、職場チームとしての健康状態をチェックし、D判定が出た項目については皆で直していきましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月3日(火)
担当者 高齢者支援課 角田 紘希

おはようございます。高齢者支援課の角田紘希です。

私は先月沖縄へ旅行に出かけましたが、出発日の早朝に一緒に行く友人からLINEが届きました。その内容は「首里城が燃えている」という一文でした。前日からわくわくして眠れなかった上に早朝のLINEだったこともあり、その一文を理解できずしばらく考えてしまいました。考えた結果、その友人が歴史に疎いこともあり、現在の首里城が太平洋戦争で1度消失し、復元されたものだということを今更になって知り、その事実を伝えようとした「(首里城は一度)燃えている」という意味だろうと解釈しました。最近の若者は歴史を知らないなあと知識人気取りで、苦言を呈しながらテレビを着けると、その瞬間すべてが理解できました。結果は皆さんもご存じの通り、数時間後に行くはずの首里城が文字通り燃えていました。赤々と燃え上がるその姿は、観光気分だった私に非常に大きな喪失感と虚無感を与えました。

そんな中、首里城を復元するにあたり、当時のレンガ職人さんが既に他界しているため、再現することが不可能だという報道を目にしました。この報道を見たとき私は自分の業務の引継ぎについて考えました。「誰々がいないからわからない」や「引継ぎを受けていないからこの業務は知らない」といったことは私たちの職場ではあってはならないことです。もちろん引継ぎをしていなかったレンガ職人さんを責めるつもりは毛頭ありませんが、この一件を教訓に、日頃から引継ぎを意識して業務を行い、誰でも再現可能な仕事を目指していきたいと思います。ちなみに、私の引継書は既に完ぺきにまとまっております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月4日(水)
担当者 高齢者支援課 佐々木 正人

おはようございます。高齢者支援課の佐々木正人です。

初めての人事異動で、以前の仕事との違いに苦戦しながら毎日を過ごしています。そんな中、趣味の音楽と通じるなと思ったことがあったので、今日はそれを話したいと思います。

私はアマチュアのオーケストラに所属しています。オーケストラは平均60名程度で約20種類の楽器の編成で演奏されます。交響曲だと1曲1時間くらいあります。

オーケストラの何が大変か？と聞かれたら私は自分の楽譜だけ見ても曲のイメージが掴めないところだと思います。単純に練習時間が足りないということもありますが、楽譜上には自分の演奏部分しか記載がなく、中には「5秒ほど演奏し、3分休んでまた5秒だけ演奏する。」みたいなこともあります。つまり、楽譜だけ見ても自分が何の役割なのか、周りが何をしているのかわからないのです。

こういう状況の中で大切なのは、音源等を聞いて自分以外が何をしているのか知り、曲全体のイメージを持つことだと思っています。

仕事に置き換えると、自分の今やっている仕事が事業の中でどの部分なのか、期限が遅れたり、間違えた時に他の仕事にどう影響してしまうのか？ということを理解しているかということではないでしょうか。

業務が忙しくて何も考えられずに仕事をこなすのではなく、自分の仕事が市役所のどの部分で、他とどう関わっているのか興味や疑問を持ち、北広島市の行政全体を意識できるよう心がけていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月5日(木)

担当者 高齢者支援課 加藤 久

おはようございます。高齢者支援課の加藤です。

ご存知の方も多いかと思いますが、私は車いすを使用しております。

平成9年に入庁し、旧庁舎で業務を行っていたときは段差があったり逆にエレベーターが無いなどバリアとなるものが多く不自由な思いをしていましたが、新庁舎になってからは段差もなく、エレベーターも設置され、快適に業務を行っています。

その業務を行う上で私のモチベーションとなっているのが、趣味の1つである車いすマラソンです。

レーサーと呼ばれるマラソン専用の車いすでハーフマラソンやフルマラソンを行うのですが、始める前は「こんなキツイことできるわけない」と思って敬遠していました。しかし、いざ走ってみると、自分の腕だけで時速20キロ以上、時には50キロにも達する速度で風を切る爽快感が忘れられず、また、途中疲れがきて苦しくても、ゴールした時の達成感が気持ちよく、飽きっぽい私としては珍しく継続して続けられる趣味となりました。

仕事でも同様なことが言えると思います。最初は嫌だな、面倒くさいな、などと思える仕事でも、やっていくうちに理解していく楽しさ、結果を出した時の達成感は、やはり気持ちがいいものです。

このような気持ちを持ちつつ、これからも仕事に励んでいこうと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月6日(金)
担当者 高齢者支援課 木村 勇人

おはようございます。高齢者支援課の木村勇人です。

本日は私の物事の考え方の基礎を作ってくれた人物との出会いについてお話ししたいと思います。

その人物とは、私の小学校5、6年時代の担当教師です。就任早々、その先生は私たちにこの先過ごす上でのクラス内の様々なルールを伝えてきたのを覚えています。例えば、算数のひっ算の最後に書く線は定規で書きなさい、解き直しは消しゴムを使ってはいけない、日記を毎日書くというような細かいルールが多くあり、私は正直何の意味があるのか理解できず、面倒だという気持ちが強かったです。改めて思うと、資料作りは見やすく美しく、修正箇所はあとから見てわかるように見え消しで、スケジュール管理を徹底しなさい、そんなメッセージが込められていたのではないのでしょうか。そして、いつも「小さいうちに恥ずかしい思いをたくさんしなさい」と口にしていました。それは、普段から人の前に立ち、自分の考えを伝える経験を多くしなさいということです。実際にクラスの役員決めの際には自分はどうしてこの係をやりたいかを皆の前に立ち、自らの言葉で伝えると行ったことを行っていました。当時は苦痛であったこれらのことも今考えると、習うより慣れよとこれから社会に出ていく私たちに様々なヒントを与えてくれていたのだと感じます。時は流れ卒業式後、最後のホームルーム。教室に生徒、保護者が集まり、どこか異様な雰囲気の中、先生はこれから大事にしてほしいという言葉を書きはじめました。「プラス思考」。少し間をあけて「これが私から君たちへの最後のメッセージ、卒業おめでとう」。あれから20年弱、私の考えの根幹にはこの言葉があります。マイナスな出来事も考え方・とらえ方次第でプラスへと転換できるかもしれない。この先生から学んだ様々なことを大切に、そんな発想ができる職員目指し、日々精進していきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月9日(月)

担当者 参事(相談担当) 谷口 侑子

おはようございます。高齢者・障がい者相談担当の谷口です。皆さんにとって息抜きは何ですか？私は、夜子供を寝かしつけ、すべての家事を終わらせた後にビールを飲みながら好きな本を読むのが息抜きの時間です。特に私は、実際に起こった事件などの詳細や背景に迫ったノンフィクションの本が大好きでよく読んでいます。

日々、テレビやインターネットなどのニュースで殺人事件など凶悪な犯罪や事件について報道されているのを目にします。ニュースを見た際には、なぜこんなにもひどいことをする人がいるんだろう、犯人が本当に憎いという気持ちになる事件も少なくありません。しかし一方で、テレビなどでは報道されない事件の裏側や犯人の生い立ちなどに迫った本を読むと、実は犯人は幼い時に両親からひどい虐待を受けていたり、愛情をかけてもらえる家庭環境ではなく育っているケースも少なくないと感じます。虐待などを受け、幼い時は被害者と呼ばれる立場であった人が、この事件を起こすまでにどのような人生を歩んできたのか、もし安心できる家庭環境で育つことができれば犯罪を犯すことはなかったのではないか、ということ考えると単純に犯人を憎む気持ちになれず、一体誰が悪いのかという気持ちにもなります。もちろん、家庭環境に恵まれずに育ったとしても大半の人は犯罪を犯すわけではありません。しかし、その人の性格や考え方を作り上げる大切な時期に十分な愛情を受けることができないということは、その後の長い人生に大いに影響を与えることもあります。

赤ちゃんから高齢になるまでのその人の生活に関わることの多い保健師として、今の関わりがその人のその後の人生にも大いに関係しているという事も自覚しながら業務を行っていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月10日(火)

担当者 健康推進課 上田 美里

おはようございます。健康推進課の上田です。

本日は、当課で実施している、風しん感染への対策についてご紹介します。

風しんは感染力が強く、症状は発熱、発疹、リンパの腫れなどがあり、成人がかかると重症化することがあります。また妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、生まれてくる子どもに心疾患や難聴、白内障などの症状が現れる場合があります、その確率は妊娠1ヶ月でかかった場合50%以上、妊娠2ヶ月の場合は35%などとされています。

昨年の7月以降風しん患者数が増加している状況を踏まえ、厚生労働省は、令和元年4月から3年間の時限的措置として、これまで風しんワクチンを受ける機会がなかった人に対し、無料で予防接種を実施することとしました。事業内容としては、1962年4月2日から1979年4月1日生まれの男性に風しんの抗体検査を受けていただき、その結果十分な抗体がない方に予防接種を行います。この年代の男性は、過去に公的な予防接種が行われていなかったため、風しんに感染し、周囲の人に広げてしまう恐れがあります。そのため、この年代の方が、必要な予防接種を受けると、免疫を持っている人が増え、風しんの流行を抑制できると考えられています。

風しんの抗体検査や予防接種を無料で受けるには、住民登録のある自治体が発行するクーポン券が必要となりますので、検査を希望される場合は、健康推進課へお問い合わせください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月11日(水)
担当者 健康推進課 竹内 奈津子

おはようございます。健康推進課の竹内です。今日は保健師の業務である「生活習慣病予防」の中で、とても大切な『血圧』の話をしたと思います。血圧が高いことで心配なことは、脳卒中・心臓病・腎臓病などの病気になる危険が高まることです。2016年国民健康・栄養調査によると、治療中を含んだ、日本の高血圧有病率は40～74歳で男性60%、女性41%、75歳以上ではそれ以上になっています。高血圧と診断されるのは、診察室での血圧で上は140以上、下が90以上です。上が120未満、下が80未満で正常血圧とされています。今年度改訂された「高血圧治療ガイドライン2019」では、上130以上、80以上が「高値血圧」となり、心臓病等の危険性が上がることで、高血圧へ移行する確率が高くなるといわれています。

皆さんの中でも、健診を受けて血圧が高いことを指摘された方も少なくないと思います。血圧は測る時の状況によって変動します。健診では、普段と異なる環境のため、脳が自律神経に命令をかけて交感神経が働いて、血管がキュッと縮まって血圧が高くなる方もいます。寒い場合でも、血管は縮んで20～30くらい変わることもあります。健診結果だけではわからないので、自宅でリラックスしている時の血圧を知ることが大切です。家庭血圧の基準は持病によっても異なりますが、持病のない方であれば、上は115未満、下は75未満が正常血圧です。

血液は血管内を流れていますが、正常の120の血圧でも、水圧に例えると、ホースで1m63cm放水するくらいの勢いがあります。血圧が140だったら1m90cm、160だったら2m10cmです。血圧は腕の血管で測りますが、腕の血管は直径5～8mmです。鉛筆の太さ位です。8mmの血管の中を1m63cmの水圧で血液は通過しています。血圧が高いことが続くと血管はどうなるのでしょうか。

皆さんの中で、仕事が忙しく血圧が高くなっている方もいらっしゃるかもしれません。「大丈夫」と思わないで、ご自身の血管や、血液を全身に送るために頑張っている心臓を労わってあげてください。

保健センターに血圧測定器がありますので、普段の血圧を知りたい方は、ぜひ測りにきてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月12日(木)

担当者 健康推進課 田淵 亜紀

おはようございます。健康推進課の田淵亜紀です。

12月も半ばになりました。年末も近づき、個人的には、年賀状を書いたり、家の大掃除をしたり、白髪を染めて少しは小ざれいになってお正月を迎えたいものです。

仕事は、3月の年度末に向けて、年内には少しでも内容的にも物理的にも目途がつくように、と思いますが、年内の出勤日を数えるとあと2週間程度です。私の能力的には残念ながら思うように仕事は進むように思えません。何もしていないわけではないのですが、実際、何も進んでいないように見える業務もあります。実施に至らなければ、何もしていないに等しいかもしれません。

8月に職員研修として時間管理研修を受け、その時、計画的に、そして優先順位をつけて、さらに予定外の仕事も予定のうち、などの話を聞いて、その通りだなと思って、研修を今後活かしたいと思いましたが、実際には思うようにはできませんでした。

それにしても年内はあと2週間程度、一つずつでもやらなければ仕事は進みませんので、今日からまた出来ることを一つずつでもやり、少しでも気持ちよく仕事納めを迎え、その先につなげたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月13日(金)

担当者 健康推進課 野切 径代

おはようございます。健康推進課の野切です。もうすぐクリスマスです。皆さんは、子供に「サンタって本当にいるの？」と聞かれた時どう答えますか。私の娘も、小学生の頃、友達から「サンタはお父さんだよ」と言われ、サンタが煙突のない我が家に入る事も腑に落ちず、「サンタってどこから入ってくるの？」と聞かれた事がありました。その時は平常心で「窓を通り抜けるんだよ」と答えました。また、娘が欲しい物はサンタへの手紙に本やゲームソフトとジャンルで書かせるようにさせました。ゾロリの本が欲しかった娘に日本の童話の本をプレゼントし、「思ったのと違った」と言われ、苦勞した思い出もありますが、娘は比較的長い間サンタを信じていました。12月6日の朝日新聞に『サンタを信じる力、人生にもたらす意外な効果がある』という記事が掲載されました。サンタの存在を聞かれた時、児童文学者の松岡享子さんは「サンタは特別な人だからできるのよ」と話すのがよいと言っています。子供に嘘はいけないという大人もいますが、サンタを信じる事は、目に見えないものを信じる心、信じる能力を養う事になるそうです。この信じる力は生きるための基本となり、子供の中に長く留まるよう育てることが大切で、クリスマスは数少ないチャンスでもあるそうです。私は仕事の中で、相談を受けたり、気づきを促すために見えない心の動きを察したり、困っていると言えない子供や大人に関わることもあります。自分が学生の頃、看護やケアの本質は、深く感じとる心と可能性を信じる心で、観察力や洞察力を深める事だと学びました。クリスマスが近づいて、改めて本質に立ち返ることに目を向けようと考えた出来事でした。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月16日(月)

担当者 保険年金課 立野 桃子

おはようございます。保険年金課国保賦課担当の立野桃子です。

国保は、平成30年度から都道府県単位の財政運営となりました。国保制度始まって以来の大改革であり、そのような時期に、この業務に携わることができ、貴重な経験をさせてもらっています。

都道府県単位化にあたっては、市町村の数が多く、市町村間でかかる医療費や負担する人の所得水準の開きも大きい北海道では、解決していく課題が多くあり、北海道と道内全市町村で協議を重ねながら、更なる負担の公平化や業務の統一化を推進しているところです。

病院に行くことがほとんどなく、健康だけが取り柄のような私ですが、今年、けがをして、健康保険のお世話になることがありました。高額療養費制度により、支払いの心配をせずに治療を受けることができ、健康保険のありがたみを、身をもって感じました。

国保の都道府県単位化は、国保財政を安定化させ、国民皆保険を将来にわたって守り続けるためのものです。これからも、誰もが安心して医療にかかれるように、守っていかなくてはならないと感じました。

また、今回のけがでありがたみを感じたことは、健康保険だけではありません。休暇をもらい業務の負担をかけて大変迷惑をかけたのにも関わらず、心配をして温かい声をかけてくれた、周りの皆さんの優しさに心から感謝します。ありがとうございました。

私たちが1日の大半を過ごす職場です。市民に対してはもちろん、職員同士も部署に限らず、お互い思いやりを持って接し、気持ちよく業務を行いたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月17日（火）

担当者 保険年金課 佐藤 晶代

おはようございます。保険年金課の佐藤晶代です。

私は、高校を卒業してすぐ入庁したので、仕事に取り組む姿勢や社会人としての心構えなど、市役所職員として働くことについての基礎は全て、最初に配属になった部署で学びました。

全然知らない人からの電話に出なければいけない、初対面の人と窓口で話さなければいけない等、学生時代とは違う環境になかなか慣れるまで時間がかかったように思います。

そんな私が、仕事を頑張ろうと前向きに続けてこられたのは、その時の周りの上司や先輩方のおかげでした。

一緒に働く人たちが真面目に、一生懸命に仕事に取り組んでる姿や、受動的ではなく自発的に仕事をする姿、正確で丁寧な事務処理、自分の仕事はここまでと線引きするのではなく他の人の仕事にも目を向ける広い視野をもつことなど、学んだことはたくさんありますが、それらは全て社会を知らなかったその当時の私にとって、最良のお手本であり、今も私の目標です。

その後も異動等を通して、様々な方の仕事の進め方や周囲への気の配り方などを間近で見ながら、自分も真似できるところは真似するなど、できるだけ吸収するように心がけています。

このように新人の頃から周りの影響を受けながら育った私ですが、これからは受けるだけでなく、誰かに良い影響を与えられるような存在になれるよう、初心を忘れずに今後も業務に励みたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月18日(水)
担当者 保険年金課 山口 久美子

おはようございます。保険年金課の山口です。

今年は例年よりも1ヶ月も早く、インフルエンザが流行しているとのことで、少しでも感染を防ごうとマスクをする方が増えてきているように感じます。

インフルエンザや風邪にかからないよう、皆さん、心身ともに健康に留意し、楽しいクリスマス・お正月を迎えましょう。

さて、話は変わりますが、私は、国民年金担当として業務に従事させていただいており、一番多いお客様は、退職に伴って厚生年金から国民年金へ加入される方、そして、学生さんも含め、国民年金保険料の支払いが困難で免除・猶予を希望される方等です。

国民年金保険料は、支払わず未納にしてしまうと、将来、生活の基盤となる老齢年金が受け取れない等のリスクが発生する可能性があります。

お客様の将来に欠くことのできないものなので、お客様の状況・希望をよく聞きとり、免除・猶予申請等のお客様に必要なお手続きを進めるよう心掛けています。

また、令和元年10月1日から「年金生活者支援給付金制度」が始まりました。これは、公的年金等の収入金額や所得が一定基準額以下の方に、生活の支援を図ることを目的として、年金に上乘せして支給されるものです。

年金機構より、9月上旬から、対象者へ請求のためのハガキが発送され、12月27日必着で年金機構へ請求ハガキを返送するよう、CMやポスター等でも強く求めています。期限が近づいておりますので、ご注意ください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく太志を結集し、今日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月19日(木)

担当者 保険年金課 秋山 耕一

おはようございます。保健福祉部保険年金課の秋山です。

本日は自分の怪我から学んだことについてお話ししたいと思います。

自分事ですが、今年の4月にスポーツ中に両膝を故障し、現在に至りますが、一時期は歩けなくなったり、手すりに捕まらないと階段の昇り降りができなくなりました。その間いくつか病院を受診しました。一つ目の病院ではレントゲンを撮りましたが原因が判らず、別の病院を紹介され、またそこでもレントゲンを撮り、さらに一つ目の病院では撮れなかったMRIも撮りましたが、やはり原因が判らず、それでも膝は痛むので、どうアプローチをすればよいかも全く分からず、自己流のストレッチやトレーニングを試みるも痛みが悪化していく一方なので、一度むやみに動かすことも止めて安静にしたこともありましたが、やはり改善せず、半年もの間まるで真っ暗闇の中をもがいているようでしたが、諦めずに病院に通い、何度か先生に症状を細かく説明していく中でようやく該当する傷病名が判明しました。そのことにより改善策が見つかり、傷病に適した注射を打つなり、リハビリやストレッチ、マッサージを行うということで道が開け、現在も完治と再発防止へ向け継続しております。

このように、仕事においてもなにか課題にぶつかったときに、問題の原因を追究し、改善に向け早急に対応していくことと、どうしたら再発を防げるかということ併せて考えていくことの大切さを改めて強く感じました。

この教訓を活かせるように、意識して日々の業務に当たっていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月20日(金)

担当者 子ども家庭課 加藤 梨奈

おはようございます。子ども家庭課の加藤です。

私の担当業務である学童クラブは、小学校に就学しており、保護者が共働き等により放課後家庭で監護を受けることができない児童に、適切な遊びや生活の場を提供する場で、子どもたちの健やかな成長や健全な育成のために欠かせない事業だと思っています。

近年、少子化により北広島市でも子どもの数自体は年々減少傾向にありますが、学童クラブにおいては毎年入所児童数が増加しており、今年4月現在の入所児童数は773人と5年前の約1.5倍となっています。このうち小学校1年生に限ると、入所率は5割以上となっており、市内の1年生の半数以上が学童クラブに入所するというのが現状です。このように、需要が増加している学童クラブですが、子どもが生活する場というだけでなく、保護者が安心して子どもを育て、子育てと労働を両立するための支援という側面も欠かせない視点であると思います。多くの保護者の方は、常に時間に追われており、余裕がなく、時には疲れた状態でお迎えに行く、という日もあるのではないかと思います。そんな時に、例えば学童の先生のちょっとした声掛けやねぎらいなどで、少し救われたりすることもあり、そういった支援者の気遣いが、日々の生活や子育てで疲れている方の活力に繋がっていくのではないかと思います。私自身がこのような場面で直接保護者の方と関わることは多くありませんが、運営者として、現場の先生方に気持ちよく働いていただき、子ども達のためはもちろん、少しでも保護者支援の一助となるよう、これからも環境整備に努めていきたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月23日(月)

担当者 子ども家庭課 笠井 衛

おはようございます。子育て支援部子ども家庭課主査の笠井です。

現在、12月27日金曜日までの期間で、令和2年4月からの市内認可保育施設と学童クラブ入所申請の受付を行っています。

私が担当している保育施設についての話しになりますが、ここ数年、3歳未満児を中心に保育施設の利用を希望する世帯の割合が増加しています。

利用を希望する子どもを保育施設で受け入れるためには、各施設において子どもを保育する保育士を確保する必要がありますが、依然として全国的な保育士不足が続いている状況です。

本市では、市内の保育、福祉、介護分野の施設・事業所に就労する方が、新規就労または出産、育児等により離職してから再度就労する方である場合に、就労開始時に5万円、6か月経過後に5万円の計10万円が支給され、就労に伴い市外から転入してきた場合はさらに10万円が支給される福祉人材確保対策支援事業を実施しています。

また、本年度の受付は終了してしまいましたが、保育士資格をお持ちで、現在は保育の仕事から離れている方や一度も保育の仕事に就いたことがない方を対象に、保育士体験セミナーも実施しておりますので、お知り合いに保育士資格をお持ちの方がいらっしゃいましたら、本市の制度をご紹介いただき、保育士確保にご協力いただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月24日(火)

担当者 子ども家庭課 記内 崇

おはようございます。子ども家庭課の記内です。

子ども家庭課では子どもの貧困対策に関する取組を進めています。先日、国において子どもの貧困対策に関する大綱が5年ぶりに見直されました。現在から将来にわたり、全ての子どもたちが夢や希望を持てる社会を目指すことを目的として策定されたものです。

貧困についての定義のひとつに、相対的貧困というものがあります。その国の生活水準と比較して困窮した状態を指すものですが、これを定義したのがOECD（経済協力開発機構）です。

私は経済のことは詳しくはわかりませんが、これを知ったときに、子どもの貧困に関する問題が経済の持続に関わる問題だということは理解できました。

大綱では少子高齢化が進むなかで、そう遠くない将来に、社会を支える立場に立つことになる子どもたちが健やかな成長を遂げるため、地方公共団体の役割は重要だとされています。

他の自治体の先進的な取組をみると、子どもを取り巻く環境の整備には、市のあらゆる部局での横断的な取組と次の世代につなげるまちづくりへの意識が必要であることがわかりました。

また、子どもの貧困対策は経済的な側面だけではありません。子どもが健やかな成長を遂げるため、その成長過程で様々な経験・体験を積み重ねる機会を確保することが必要だということです。

そして、本日は世の子どもたちが心待ちにしているクリスマスイブです。みなさん明るい将来のためにも、ぜひ楽しいクリスマスをお過ごしください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月25日(水)

担当者 子ども発達支援センター 箭本 尚子

おはようございます。子育て支援部子ども発達支援センターの箭本です。私は言語聴覚士という資格をもってセンターで働いております。今日は、これまであまり話したことがない、私と言語聴覚士という視点でお話しさせていただきたいと思います。

私が言語聴覚士になろうと思ったのは大学時代に出会ったお子さんがきっかけです。そのお子さんは知的に重度な障害があり、ことばを発することはありませんでした。表情もあまり変化しないため、コミュニケーションを取ることがとても難しかったことを覚えています。

言語聴覚士になりたての頃は、専門職として障害のある子どもに対する支援ばかりを考えていました。子どもと自分の1対1の関係です。それから、子どもとご家族と自分という関係のなかで支援を考えられるようになりました。そして、さらに子どもとご家族が暮らす地域や社会での支援という視点を持てるようになりました。

私の尊敬する先生がおっしゃっていたことばに「1対1の関係から始まり、視野は社会へ。それが言語聴覚士のミッション」ということばがあります。今の私にとって目指すべき目印のようなことばです。新米の頃であれば、このことばは心に響かなかったと思います。平成17年に入庁してから、様々な経験をさせていただいたからこそ、共感できることばとなりました。

目の前にいる子どもとご家族へ直接的な支援を行うのはもちろんですが、北広島市の資源の一つとして言語聴覚士の資格を持つ自分に何ができるのか、時代に合った支援を市民の皆様に提供できるように広い視点を持って考えていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月26日(木)

担当者 すみれ保育園 中居 香織

おはようございます。子育て支援部すみれ保育園の中居です。仕事で大切にしていることとお話しします。

私は、笑顔で元気に遊んでいる子どもたちが好きですが、ぐずったり、泣いたりする子も大好きです。アピールして自分のことを見てもらおう、知ってもらおうと私に向けるアピールのひとつだからです。特に、忙しい時間に子どもたちは、自己アピールしてきます。たとえば、保育士が、お昼寝前に着替えをしている子を手伝っているときに、先に着替え終えて遊んでいる子が「先生、お着替できてすごいでしょ。」「先生、見て見て、パジャマかわいいでしょ。」。そう言っている傍ら、違う子同士で、使いたかった玩具が同じだったようで「先生、貸してって言ってるのに貸してくれない。」と訴えてくる子どもたち。午前中、どうしてみんなで遊んでいるときはこうならないのに一番忙しいときに…と思っていました。子どもたちは、自分にしっかり保育士の目が向けられていないと感じた時に、自分を見てほしくてアピールすることに気がきました。いつも全体を見ながら子どもたちと過ごしていましたが、「ちゃんと見てるよ」と伝わるようにすると、子どもたちが安心して、落ち着いて過ごせることが増えてきたのです。

人のほとんどの行動には、理由があると私は考えています。「なぜ？」を考えることで、その人の思いに近づけるきっかけとなるのではないかと考えています。しかし、自己アピールが少ない子たちもいます。これからも「なぜ？」を考えてひとりひとりに向き合い、子どものことを知ろうとすることを大切にしていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年12月27日(金)
担当者 すずらん保育園 上家 正代

おはようございます。子育て支援部すずらん保育園の上家です。私は5歳児クラスを担当しています。「ランドセル、かってもらったよ」と、嬉しそうに話している子ども達は入学をととても楽しみに待っています。

小学校へ入学すると、環境が大きく変わります。市内の幼稚園、認定こども園、保育園、小学校が一丸となり、環境の変化による段差を小さくするために、様々な取り組みをしています。年長児と小学生の交流、職員による交流会、研修会などを積極的に行っています。

そして、保育園での学びを学校生活や学習へとつなげるように、3つの力を育てています。1つ目は「生活する力」です。身の回りのことは自分でする、時間を意識して行動することです。2つ目は「人と関わる力」です。友達と協力する活動を通し、互いの良さを認め合うこと。また、意見が合わない時や競争で負けた時に、感情を調整することです。新しい出会いの中で、充実した生活を過ごすために必要な力となります。3つ目は「学びの力」です。保育園では遊びを通して学びます。例えば、すごろく。数えたり、文字を読んだりしながら算数、国語の基礎となるものを学びます。工作では、イメージした物をどのようにすると作れるのかを考え、試行錯誤をします。この考えて試す力がとても大事で、学びの意欲へとつながります。このように、子どもは夢中になって遊ぶ中で学びの力を培っています。

また、保育士は、北広島市の子ども像を念頭に置きながら、保育計画を立て実践をしています。自分や仲間を大切にし、自ら意欲的に活動できる子どもに育ていけるよう、日々保育をしています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。